

教育に関する事務の点検及び評価報告書

(平成25年度分)

平成26年8月
南部町教育委員会

【目次】

第1 点検・評価制度の概要	1
1. 事務の点検・評価の考え方	1
2. 具体的な事務の点検・評価の方法	1
3. 事務の分類と評価	1
第2 事務事業ごとの点検・評価	2
I. 教育委員会の活動	
1. 教育委員の構成	2
2. 教育委員会の活動状況	
(1) 委員会議の開催状況	2
(2) その他の活動状況	3
II 教育委員会が管理執行する事務	3～4
III 各課の事務の点検及び評価の結果	5～24
1. 学校教育環境の充実（学校教育課）	
(1) 学校教育施設・環境の整備	5～9
(2) 学校教育内容の充実	9～11
2. 生涯教育の充実（生涯学習課）	12～13
3. 文化の振興（生涯学習課）	14
4. 総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）	15～16
5. アルカディア文化館（生涯学習課）	
(1) 南部図書館・富沢図書館	17
(2) 町立美術館	17～18
6. 生涯スポーツの充実（生涯スポーツ課）	
(1) 施設の充実と効果的な活用	19～20
(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化	21～22
(3) 組織の充実と連携	23～24

第 1 点検・評価制度の概要

1. 事務の点検・評価の考え方

南部町教育委員会におきましては、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ・レクリエーションなどの分野で様々な施策に取り組んでおりますが、これらの施策を充実させるうえで各施策の進捗状況や町民の皆様及び関係各位の意見を踏まえることは非常に重要なこととなります。また政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なこととなります。

このようなことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、自らの権限に属する事務の管理及び執行について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、町民に公表する取り組みを平成 20 年度から実施しております。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等)

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務「前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。」の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

平成 20 年 4 月 1 日

2. 事務の点検・評価の方法

平成 25 年度に南部町教育委員会並びに教育委員会各課において執行された事務事業について、教育委員会内部で点検評価する。

3. 事務の分類と評価

教育委員会所掌の事務事業を次のとおり 3 分類する。

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理執行する事務」
- III 「教育委員会各課の執行する事務事業」

◇ 達成度の評価

「III 教育委員会各課の執行する事務事業」について、達成度を 5 段階で評価する。

- 5 極めて満足である (順調に達成している)
- 4 満足である (概ね順調に達成している)
- 3 普通 (達成見込みだが若干課題がある)
- 2 不満足である (順調でない)
- 1 極めて不満足である (達成しなかった)
- 評価しがたいもの

第2 事務事業ごとの点検・評価

I 教育委員会の活動

1. 教育委員の構成

南部町教育委員（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

職名	氏名	任期	備考
委員長	佐野 浩道	平成23年5月10日 ～平成27年5月9日	委員長就任 平成25年5月1日
委員長 職務代理者	瀧 政幸	平成23年5月10日 ～平成27年5月9日	委員長職務代理者就任 平成25年5月1日
委員	渡辺 拓雄	平成24年5月1日 ～平成28年4月30日	
〃	芦澤 和彦	平成25年5月1日 ～平成29年4月30日	
教育長	望月 宝	平成22年4月1日 ～平成26年4月30日	教育長就任 平成25年4月1日

2. 教育委員会の活動状況

(1) 委員会議の開催状況

南部町教育委員会の会議は原則として公開する。また毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催している。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けている。

平成25年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりである。

会 議	開催日	議案件数	報告件数	その他
平成25年 臨時第1回	4月1日	1	0	0
定例会第4回	4月24日	3	1	1
臨時第2回	5月1日	2	1	1
定例会第5回	5月23日	3	3	1
〃 第6回	6月17日	2	1	1
〃 第7回	7月9日	3	1	0
定例会第8回	8月27日	1	2	0
〃 第9回	9月18日	2	1	0
〃 第10回	10月16日	4	1	0
臨時第3回	11月5日	1	0	0
定例会第11回	11月22日	3	1	3
〃 第12回	12月20日	2	2	1
平成26年 〃 第1回	1月17日	2	1	2
〃 第2回	2月20日	3	1	1
〃 第3回	3月17日	3	2	2
合 計		35	18	13

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、町議会への出席、各会議、関係行事等へ出席している。平成25年度における主な活動は次のとおりである。

- ・山梨県町村教育長会 ・山梨県教育委員会連合会
- ・峡南地区教育委員会連合会総会及び研修会
- ・南部町教育委員先進地視察研修 ・学校訪問
- ・各小中学校入学式 ・卒業式
- ・各小学校運動会 ・中学校学園祭
- ・町民体育祭 ・成人式典 ・町内一周駅伝大会
- ・その他各種イベント事業への出席

II 教育委員会が管理執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は南部町教育委員会事務委任規則に規定されている。平成25年度に管理執行した事務については下記のとおりである。

(1) 教育委員会規則及びその他の重要な規定の制定及び廃案すること。

○ 条例、規則の改正

- ・南部町公民館条例施行規則の一部改正
- ・南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
- ・南部町社会教育委員条例の一部改正

○ 要綱制定

- ・南部町私立幼稚園運営費補助金交付要綱
- ・南部町入学祝金支給要綱
- ・南部町青森県南部町児童交流会補助金交付要綱
- ・南部町立南部中学校自転車通学用ヘルメット購入費補助金交付要綱
- ・南部町立南部中学校進路指導対策費補助金交付要綱
- ・南部町立南部中学校生徒検定費助成金交付要綱
- ・南部町立南部中学校生徒会運営費補助金交付要綱
- ・南部町公民館運営費補助金交付要綱
- ・南部町公民館連絡協議会研修費補助金交付要綱
- ・南部町青少年育成南部町民会議補助金交付要綱
- ・南部町PTA連合会補助金交付要綱
- ・南部町女性団体連絡協議会補助金交付要綱
- ・南部町文化協会補助金交付要綱
- ・南部町内船歌舞伎保存会補助金交付要綱
- ・南部町徳間相撲甚句振興会補助金交付要綱
- ・南部町南部火祭り太鼓振興会補助金交付要綱
- ・南部町富沢郷白鳥太鼓保存会補助金交付要綱
- ・南部町楮根篠井太鼓保存会補助金交付要綱
- ・南部町図書館フェスティバル実行委員会補助金交付要綱
- ・南部町図書館ボランティアグループ補助金交付要綱
- ・南部町体育協会事業費補助金交付要綱
- ・南部町スポーツ推進委員会運営費補助金交付要綱
- ・南部町県外スポーツ大会等出場費補助金交付要綱
- ・南部町総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金交付要綱
- ・南部町アルカディアスポーツフェスタ実行委員会補助金交付要綱

- (2) 教育予算その他の議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。
平成25年度9月補正予算、平成25年度12月補正予算、平成25年度3月補正予算、平成26年度当初予算、全て原案どおりを了承される。
- (3) 県費負担の教職員の人事の内申に関すること。
・人事異動に際し、21名の異動の内申を行なった。
- (4) 教育委員会の所管する各種委員会の委員の任命及び委嘱に関すること。
・学校給食共同調理場運営委員会 委員17名
・学校評議員 委員17名
・社会教育委員協議会並びに公民館運営審議会 委員14名
・スポーツ推進審議会 委員8名
- (5) 勤務評定に関すること。
・校長5名の勤務評定を行った。

Ⅲ 各課の事務の点検及び評価の結果

1. 学校教育環境の充実（学校教育課）

(1) 学校教育施設・環境の整備

① 学校施設環境整備事業

* 事業概要

・平成23・24年度の2年間にわたり住民生活に光をそそぐ交付金事業「知の地域づくり」により、各小中学校に特色ある図書の充実を図った。25年度も引き続き学校図書の整備を行った。

・各小中学校に配置しているパソコンの起動システムがWindowsXPのためサポート終了に伴い、Vistaへのバージョンアップを実施した。

* 成果 [評価 5]

[小中学校施設の学校図書の整備]

- ・睦合小学校 791, 226円 (図書466冊 DVD10枚)
- ・栄小学校 688, 909円 (図書416冊)
- ・富河小学校 799, 563円 (図書462冊 CD30枚 DVD7枚)
- ・万沢小学校 634, 736円 (図書333冊 CD10枚)
- ・南部中学校 847, 239円 (図書597冊 DVD6枚)

[Windows アップグレード]

- ・小学校 195台 3, 394, 125円
- ・中学校 85台 1, 475, 775円

* 課題

学校図書の購入については、限られた予算の中で計画的に進める必要がある。

今回パソコンをWindows Vistaへアップグレードしたが、平成29年4月にはサポート終了と購入後8年経過に伴い、買い替えを検討する必要がある。

② 地域ぐるみ学校安全整備事業（スクールガードリーダー）

* 事業概要

子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを実施することを目的とする。

本町では、平成17年10月より1名のスクールガードリーダーを委嘱し、小学校4校に対して登下校の際の子どもへの指導、見守り隊への指導、通学路の安全確認等を実施している。スクールガードリーダーは、主として学校周辺を通学時間帯及び下校時間帯にそれぞれ2時間程度、4小学校を曜日変わりで巡回している。

- ・スクールガードリーダー報償費 219, 550円

* 成果 [評価 5]

事業を開始してからは特に問題等は起きておらず、事業効果は大きい。

* 課題

今後も子どもたちの安全確保のため事業を継続していくが、4小学校の見守り地域が広範囲に及ぶため各校のパトロール隊と連携するとともに通学路付近の住民に「ながらパトロール」の依頼をするなど、全町的に効率的な見守りを行うことに努める。

③ 日本スポーツ振興センター災害給付金事業

* 事業概要

各小中学校に在学する児童・生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行う制度。町では全校児童生徒がこの制度に加入しており、その共済掛金は町が負担している。

- ・ 共済掛金合計額 506,015円 (対象：小学校361人、中学校180人)
- ・ 実績 (給付金合計) 433,552円 (対象：小学校38件、中学校45件)

* 成果 [評価 -]

町では中学3年生まで医療費助成制度があるが、この災害給付金制度では療養に伴って要する費用として加算される分(1/10)があり保護者にとっては有利である。学校でもその点を説明し、この制度の利用に努めている。

* 課題

学校では子どもの安全確保に努めているが、この制度は長期休暇中にも対応できるため、不慮の災害に備え保護者に対して安心を与えられる点が有効である。

④ スクールバス運行事業

* 事業概要

中学校の統合により、富河・万沢地区には通学に利用できる公共交通機関がないため、長距離通学を余儀なくされる生徒に対してスクールバスを運行する。また、学校と居住地が遠く離れている井出・十島地区の児童生徒及び通学路(国道)が危険な楮根・朝日地区児童も、スクールバスで登下校をサポートしている。

- ・ 運行委託料 15,385,300円
- ・ 修繕料 1,248,905円
- ・ 燃料費 2,065,122円

* 成果 [評価 4]

- 1) 富河地区の生徒の輸送(56名)
- 2) 万沢地区の生徒の輸送(8名)
- 3) 井出・十島地区の児童生徒の輸送(28名)
- 4) 楮根地区の児童の輸送(16名)
- 5) 朝日地区の児童の輸送(5名)

児童生徒の通学にかかる負担を軽減している。

* 課題

スクールバス乗車時間の最長は徳間地区生徒で約25分間である。遠距離生徒が安全かつスムーズに登下校できるよう運行時間、運行ルート、乗降場所等の調整を図る。

⑤ 遠距離通学費補助事業

* 事業概要

学校と居住地が遠く離れている寄畑・井出・十島地区から、JRを利用して通学する児童・生徒の回数券・定期券購入の補助を行っている事業。対象校は栄小学校と南部中学校。原則、栄小児童はスクールバス通学で、南部中生徒はJR通学(朝練実施日の登校便はスクールバスを利用)である。

補助金は、原則として児童・生徒の保護者に対し交付する。
決算額（学校毎）

栄小 → 7,970円（電車：JR回数券）
南部中 → 234,780円（電車：JR定期券）

学校毎の対象者数

栄小（井出8名、十島12名）
南部中（井出5名、十島3名）

*** 成果 [評価 5]**

保護者の経済的負担もなく、安全に登下校できている。

*** 課題**

JRを利用する井出・十島地区の児童生徒の負担が軽減できるよう事業を継続していく必要がある。

⑥ 学校給食共同調理場運営事業

*** 事業概要**

平成25年4月から2つの調理場を統合し、南部町学校給食共同調理場をスタートさせ、調理の集中化により一層の効率化が図られた。安心して安全な栄養面も十分に配慮された美味しい給食を提供することにより、子どもに望ましい食習慣を身につけさせることを目的に、共同調理場を設置している。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めるほか、給食費負担金の収納確保にも取り組んでいる。

・小学校：416食、中学校：216食

1) 学校給食費負担金

歳入決算額 30,399,780円

小学校 月額4,300円（年額 47,300円）

中学校 月額4,800円（年額 52,800円）

上記の給食費に対して、町から1割相当額を上乗せ補助している。

2) 学校給食運営費（決算額）

歳出決算額

66,231,232円（内、賄材料費33,888,612円）

3) 学校給食提供日数

小学校196日、中学校190日

*** 成果 [評価 4]**

食材料については地産地消を取り入れ、町内JAの協力のもと地元生産者との生産者部会を定期的に開催し、季節感や風習に因んだ郷土料理や旬の野菜等を献立に加え、献立内容の充実を図っている。

*** 課題**

毎日、約630食を調理、配送することになるので適切な人員を配置するとともに、調理場では仕込み、調理、配送に至るまでスムーズな作業ができるよう効率的な体制づくりを図る。また、より豊かな学校給食の実現と一層の効果的な給食運営を図るた

めのひとつの手法として、給食調理業務の民間委託についても検討する必要がある。

⑦ 学校給食費助成補助事業

* 事業概要

少子化対策ならびに子育て支援育成に資することを目的として、義務教育対象の子どもが3人以上いる町内在住の保護者に対し、第3子以降の給食費が無料となる。ただし、未納及び滞納のない世帯が対象である。

対象世帯数：27世帯 助成金額合計 1,277,100円

* 成果 [評価 5]

対象者に通知し申請を促しているため100%の方がこの制度を利用しており、好評を得ている。学校給食費に関心を持つきっかけとなり、収納向上に貢献している。

* 課題

子育て支援には成果があると思われるが、少子化は進行しており、他施策との連携による効果の拡大等を図る必要がある。

⑧ 要保護及び準要保護児童生徒への就学援助事業

* 事業概要

経済的理由等により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な費用(学用品費、修学旅行費、給食費等)を、認定基準額(所得の金額)に応じて認定審査を行った上、支給する。

区分	対象者	援助額
睦合小(準要保護)	8人	513,236円
栄小(〃)	8人	469,850円
富河小(〃)	10人	677,207円
万沢小(〃)	2人	138,590円
南部中(要保護)	0人	0円
〃(準要保護)	15人	976,400円
計	43人	2,775,283円

◇対象者:児童扶養手当受給者
(30世帯43人)

◇要保護者:生活保護で対応
(0世帯0人)

* 成果 [評価 4]

対象者に対しては、民生委員等と連携し申請漏れのないように手続きの勧奨を行っている。ひとり親家庭に対する経済的支援の効果は大きい。

* 課題

前年比3名減、援助額は351千円の減となったが、今後さらに援助を必要とする児童生徒(母子、父子家庭)が増加すると予想され、予算措置(町単独費用)が課題となる。

⑨ 心の教室相談事業

* 事業概要

心の教室相談員を町内の中学校に配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。

*** 成果 [評価 4]**

より身近なところに相談できる場があり、生徒達の悩み、不安、ストレスが和らぎ、心にゆとりを持てるようになることは、生徒が充実した学校生活を送ることに繋がっている。

*** 課題**

生徒からの相談を待つのではなく、相談員が積極的に多くの生徒と接触し日常的な会話の中から生徒が抱える諸問題について、担任、養護教諭、関係機関、教育委員会と連携していくことから、早期対応が図られ未然防止の効果も高くなると思われる。

⑩ 私立幼稚園就園奨励費補助事業

*** 事業概要**

私立幼稚園の設置者が幼稚園教育の振興に資するため保育料等の減免をする場合に、町が町内に住所を有し当該幼稚園に在園する幼児の保護者に対し家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るための奨励費を設置者に交付する。

現在、南部町では私立南部みどり幼稚園に交付している。

- ・減免対象児童数 30名
- ・決算額 310,000円

*** 成果 [評価 4]**

私立幼稚園に通園する保護者への負担軽減に貢献することができた。

*** 課題**

この事業は南部町独自の基準で行っているが、平成25年度の国庫補助制度改正を参考に補助率の見直しを行っている。今後も国庫補助制度に倣いつつ、随時見直していく必要がある。

(2) 学校教育内容の充実

① 小中学校特別支援教育支援員配置事業

*** 事業概要**

小・中学校において、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して支援員（非常勤職員）を配置し、学校生活の支援を行う。

〔特別支援教育支援員〕

障害等により特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活を送るために必要な支援を行う。

対象児童 2校 12名、 対象生徒 1校 27名

〔日本語指導支援員〕

日本語が不自由な国籍の児童生徒に対し、日本語や生活習慣の指導等を行い、学校生活を送るために必要な支援を行う。

対象児童 1校 2名

*** 成果 [評価 4]**

〔特別支援教育支援員〕

- ・学級担任と支援員との連携により、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、障害や実情等に応じた適切な支援を行うことができた。

- ・学級担任の負担を軽減することができ、学級担任による他の児童生徒への指導の充実、円滑な学級運営を図ることができた。

〔日本語指導支援員〕

- ・外国籍児童生徒が編入した学校における本人や周囲の様々な不安を取り除き、早い時期に日本の習慣に慣れさせることで、安定した学校生活を送ることができるようになった。
- ・児童生徒間の交流を促進する担い手となり、異文化に対する興味・関心を高めたり、理解を促進したりすることができた。

* 課題

専門的な支援員の人材確保が課題である。また、今後さらに支援を必要とする児童生徒が増加すると予想され予算措置が課題となる。

② 中学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

語学指導を行なう外国語指導助手(A L T)として民間派遣(㈱インタラック)1名が南部中学校で指導している。

* 成果 [評価 4]

生きた英語に数多く触れることで、英語学習への意欲・関心が向上し、英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーション能力を高めることにつながる。
また、異文化についての意識が高まることにより、国際理解教育の推進が図れる。

* 課題

助手の派遣は委託契約のため、委託外の校外活動等の参加、急な授業時間の変更に対応が難しい。

③ 小学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

小学校学習指導要領において、小学校5年生及び6年生は週1コマ「外国語活動」を実施することになっている。外国語指導助手(A L T)民間派遣(㈱インタラック)1名が、町内4小学校において、英語の授業を行っている。

* 成果 [評価 4]

外国語活動において、小学1年から6年までが外国語指導助手(A L T)とふれあうことができ、児童の英語に対する関心が高まり、意欲をもって学習に取り組めるようになった。

* 課題

十分なA L Tの配置が困難な自治体が多い中、4校全学年A L Tによる週1コマの活動時間が確保できているので、今後も継続していく必要がある。

④ 学校評議員制度の実施

* 事業概要

地域に開かれた学校づくりをより一層推進するため、各学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民の意見を幅広く聞き、学校と地域が連携しながら特色ある教育活動

を展開する学校運営を推進する。

*** 成果 [評価 4]**

各学校ではこうした機会に学校での教育活動について協議し、家庭・地域の提言や意見を取り入れるとともに、学校だよりなどにより学校の様子を知らせ、開かれた学校づくりに努める。

*** 課題**

学校評議員制度による地域に開かれた学校づくりが、各学校でさらに定着することが課題である。

⑤ 山梨青森南部町児童交流会実施事業

*** 事業概要**

南部氏の縁に結ばれた、両県南部町児童が、互いの町の歴史や文化、身近な環境などふるさとの特色や学校等を紹介しあい、新しい時代の主役となる子どもたちの交流を深めるため毎年夏休み期間を活用し実施している。

*** 成果 [評価 5]**

25年度は青森県南部町から30名の児童が来町し、両町合わせて12校60名が2泊3日の日程で児童交流会を実施した。グループづくりの自己紹介では表情に硬さも見られたが、2日目の富士山五合目の散策やキンボール大会を通じて山梨・青森両南部町の児童は自然と会話もはずむようになり、お互いの地域の歴史や文化を共有し、さらに心を通じ合うことにより、たくさんの仲間を作ることができた。

日時 平成25年7月23日～25日（2泊3日）

交流会：仲間づくりゲーム、南部氏についての学習会、富士山散策、キンボール大会等

宿泊場所 随縁カントリークラブ

参加者数 青森南部町：8小学校30名・引率11名

山梨南部町：4小学校30名・引率13名

事業費計 679,719円

*** 課題**

25年度は青森から交流団を迎えた。一方、現在まで青森南部町へ訪問する際に、参加児童は費用を負担していないが、受益者負担の原則や継続して事業を進めていくために、平成26年度から個人負担金を徴収していく必要がある。

2. 生涯学習の充実（生涯学習課）

① 生涯学習の推進

* 事業概要

各種講座・教室・事業を通じて、町民が学習する機会を提供する。
ピアノリサイタル、映画鑑賞会、生涯学習フェスティバル、成人式等が開催された。

* 成果 [評価 4]

【畠山さち子ピアノリサイタル】

平成25年10月26日に文化ホールにおいて、国内外で活躍するピアニスト畠山さち子さんと弦楽四重奏によるクラシックコンサートを開催した。

【成人式】

平成26年1月11日に文化ホールにおいて、成人者（男性61名、女性44名）を祝福する式典を開催した。

【生涯学習フェスティバル】

平成26年2月23日に文化ホールにおいて、フェスティバルを開催した。この中で、「家庭の日」「青少年を育む日」の作品優秀者の表彰、小中学生の作文・弁論発表、研究公民館の実践発表を行った。また、文化協会と共催の記念講演では、戦場カメラマンの渡部陽一氏が「ファインダー越しに見た命の現場～戦場からのメッセージをあなたに～」と題して講演した。

* 課題

一人でも多くの町民に参加してもらえるよう、他団体との共催により事業の拡大を図った。一方で、長年継続して開催しているため、集客率が伸び悩んでいる事業については、今後、企画の見直しを行っていく必要がある。

② 青少年教育の推進

* 事業概要

青少年の人間形成において家庭の果たす役割は大きく、特に核家族化が進みつつある現在、個としての家庭では、その役割の発揮に限界があり、地域の皆で支えあって青少年の教育や社会問題の解決に取り組まなければならない。町としても、少年期から青年期に向け、社会参加活動への機会を提供するための青少年教育を推進する。

* 成果 [評価 3]

子どもクラブ連合育成会ではアルカディアスポーツフェスタにおいてキンボール大会を開催し体力の向上を図った。1月には新春書道展を開催した。

高校生保護者会では子どもの夏休み中に町内4地区において「愛のパトロール」を実施し青少年の健全育成に努めている。

町民会議では、町をはじめ関係機関や団体と緊密に連携して、夏季生活指導連絡協議会や冬季生活指導連絡協議会を開催し、育成活動に取り組んでいる。

* 課題

「たくましく心豊かな青少年健全育成」のため、地域ぐるみで、家庭・学校・地域がそれぞれの在り方や役割を認識し、緊密に連携しながら取り組む必要がある。

③ 高齢者教育の推進

*** 事業概要**

高齢社会においては、高齢者が経済社会の変化に対応していくために絶えず新たな知識や技術を習得する機会が必要とされる。また、学習を通じての豊かさや生きがいの充足が求められることから、積極的な社会参加を果たすことができるような学習と活動の機会と場を提供し、高齢者教育の振興を図る。

【なんぶいきいき大学】

学習会	月 日	内 容	場 所
第1回	5月29日(木)	『開講式と町長講話』 南部町長 佐野和広氏 ≪南部町チャレンジデー2013 参加 軽スポーツでリフレッシュ≫	活性化センター
第2回	6月27日(木)	『私の歩いてきた山々』 「63歳のエベレスト」著者 渡邊玉枝氏	ぴゅあ峡南
第3回	7月25日(木)	『話してみよう 手話ッ!』 身延高校手話コミュニケーション部	文化ホール
第4回	8月22日(木)	『輝いて生きる』 介護アドバイザー 高口光子氏	ぴゅあ峡南
第5回	9月13日(金)	『実践!健康づくり』 理学療法士 金森永次氏	活性化センター
第6回	10月17日(木) 10月22日(火)	『町外研修』 八ヶ岳周辺の歴史と湧水を巡る	北杜市方面
第7回	11月21日(木)	『朗読を楽しむ』 えりこ&いいんかい座	文化ホール
第8回	12月12日(木)	『交通安全教室』 専門交通指導員峡南ブロック	活性化センター
第9回	1月23日(木)	『悪徳商法に負けない知恵』 山梨県民生活センター	ぴゅあ峡南
第10回	2月27日(木)	『閉講式と春待ちコンサート』 リード・アンサンブル ♪ ミュール ♪	文化ホール

*** 成果 [評価 4]**

なんぶいきいき大学では健康づくりや生活に密着したテーマなどにより、歌を歌ったり身体を動かしたり楽しく参加できる講義を開講した。また、個人の趣味を広げるためのクラブ活動などを通して、仲間づくりの輪を広げている。

*** 課題**

高齢者の社会参加が少なくなっている今日、高齢者世代の趣味も日々変わってきているため、ニーズにあったテーマと、足を運んでもらうための工夫をしていかなければならない。

3. 文化の振興（生涯学習課）

① 文化財保護事業

* 事業概要

文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない資産である。現在、国指定1件、県指定18件、町指定49件の指定を受けており、文化財審議会委員を中心に書跡や史跡また天然記念物の保護、並びに無形文化財の継承に努める。

* 成果 [評価 4]

台風・大雪により被害を受けた県指定文化財の井出八幡神社の社叢、本郷の千年ザクラ、町指定文化財の原間のイトザクラ、内船八幡神社のイチョウとクスノキ等、文化財の保護に努めた。

* 課題

担当職員が専従でないため文化財関係の詳細な対応については難しい部分がある。一定レベルの専門的知識を有する職員の育成と、県の専門機関並びに所有者・管理者・周辺住民等との協力体制を強化し文化財保護に努めていく必要がある。

② 文化協会等育成事業

* 事業概要

現在の南部町文化協会は、南部地区と富沢地区それぞれの文化協会からなり、別々に事業を行なっている。合併して以来の懸案、両地区の協会が早期に一本化できるように、交流の機会を提供することを目標にして活動を計画していく。

両地区を通じて実施される町民文化祭は、相互の情報交換、交流の場の確保という面で大変重要な事業となっている。文化協会補助金として、町から240万円が支出される。

* 成果 [評価 4]

「創りだそう 暮らしの中に 輝きを」をキャッチフレーズに、南部地区、富沢地区ともに、交流を深めながら活動を進めてきた。文化祭芸能発表では各地区の隔てなく30団体の出演があり、地域間の交流と連携をさらに深めることができた。

* 課題

2地区の文化協会の一本化を目指しながら活動をしているが、組織の構成、運営方法の違いから、一本化へのすり合わせすら厳しい状況にある。

4.総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）

① 各種教室、講座等の主催事業

* 事業概要

中央公民館では、町民を対象とした公民館講座や各種教室を開催している。

【夏の講座】

教室名	時期・実施回数	申込数	受講者延数	
陶芸教室	午前	月1回(10回)	8人	39人
	午後	月1回(10回)	6人	40人
	夜間	月1回(10回)	15人	70人
パン作り教室	初級	月1回(7回)	17人	100人
	中級	月1回(6回)	19人	110人
つるし雛教室	月2回(8回)	9人	67人	
パッチワーク教室	月2回(15回)	5人	43人	
健康ヨガ教室	月2回(10回)	31人	148人	
オカリナ教室	月2回(10回)	5人	48人	

【秋の講座】

教室名	時期・実施回数	申込数	受講者延数
金属工芸①教室	週1回(3回)	6人	16人
金属工芸②教室	週1回(6回)	8人	38人
手作りアロマ教室	月1回(8回)	6人	23人

【単発講座】

教室名	実施日	受講者数
こども料理教室	7月31日	20人
フルーツジャムづくり体験教室	8月26日	30人
歴史探訪講座	9月19日	27人
なんぶお茶講座	11月28日 11月29日	9人
こどもお菓子作り教室	3月26日	26人

* 成果 [評価 4]

生涯学習のひとつである生きがいくりの入口としての役割が確立してきている。

本年度は今まで講座として実施していないアロマやなんぶ茶についての講座を開催したところ、受講者にとっても好評だった。また、受講者自身、この講座がきっかけで趣味として続けていると共に講座以外の事にも興味の範囲が広がりより活動的になる傾向が見られる。

* 課題

受講者が以前から受講しているリピータが多く、新規受講者の開拓が課題である。新講座において受講者にはとても好評だった実績を踏まえ、新講座の開催にあたっては講座内容をわかりやすく町民に広報することに努めるとともに、日時等など参加しやすい方法を検討する。また、新講座については、興味のある初心者を対象とした講座を開発し、生涯学習の裾野を広げることを目標に事業を進めていく必要がある。

② 南部町文化ホール事業

* 事業概要

芸術文化に関する住民の意識の啓発、教養の向上を目的とし、映画会、寄席、合唱発表会、コンサートなどの自主事業を実施した。

また、地域社会の振興に寄与するため、南部町民文化祭、内船歌舞伎の定期公演、畠山さち子リサイタルコンサート等へ協力し、その他ホールの貸館等を行っている。

【自主事業】

事業名	開催日	入場数	販売収入額
なんぶシネマ 「ツナグ」「道～白磁の人～」	6月15日	476人	156,500円
七夕こども映画会 「ドラえもん」「ひまわりと子犬の7日間」	7月6日	453人	60,000円
南部寄席 ～桂米助・三遊亭小遊三 二人会～	8月24日	240人	483,000円
合唱のつどい	10月21日	290人	無料
望月友美クリスマスコンサート	12月16日	239人	496,000円
計		1,698人	1,195,500円

平成24年度(前年度)自主事業販売収入額 913,800円

【有料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
ピアノ教室発表会	5月3日	72人	22,000円

【貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
町民文化祭芸能発表部門	11月3日	500人	無料
内船歌舞伎定期公演	12月1日	400人	無料
南部町歌謡フェスタ2014	3月16日	400人	無料
小学校芸術鑑賞会 他49回使用	5月8日他	2,538人	無料
計	全52回	3,838人	—

* 成果 [評価 4]

無料公演を含む5回の自主事業を実施し、来場者から好評を得た。また前年度実施した来場者アンケートの結果を踏まえ映画会を2回の開催とし、集客は過去最多となった。

貸館事業に関しては、ピアノ教室発表会のほか、定期的に利用する団体が増え地域の文化振興と住民の交流の場の提供に貢献できた。

* 課題

集客率と費用対効果を考慮し、ホールの規模に合致した企画の選考が求められる。また地域の文化振興に貢献するため、文化協会等の規約に定められた団体には無料貸館が可能である事も、さらに周知し施設稼働率を高めていくべきである。

5. アルカディア文化館（生涯学習課）

① 南部図書館・富沢図書館

* 事業概要

地域の情報拠点、学習の拠点となる図書館は、町民の学習要求の多様化、高度化に伴い、一般書はもとより専門書、学術書、地域資料、さらには公共図書館と学校図書館を結ぶネットワークの活用を図り、学習にあった多種多様な資料の収集及び提供を目的とする。

[南部図書館]

- 開館日数：291日
- 来館者数：23,020人
- 貸し出し冊数：54,012冊
- 主催教室事業
 - ・乳幼児・幼児・リトミック教室等
 - 開催回数：65回
 - 参加者数：1,710人
 - ・お話し会・読書指導（小学生対象）

[富沢図書館]

* 事業概要

- 開館日数：283日
- 来館者数：5,771人
- 貸し出し冊数：22,218冊

* 成果 [評価 4]

乳幼児を持つ親子並びに小学生を対象にしたお話し会や工作、手遊び、映画会等を図書館ボランティアの協力を得ながら開催しているため、読書活動に対する効果は上がっている。

* 課題

利用者のニーズにあった本を提供するため、リクエスト等の情報の収集に努めるとともに、住民の読書支持率向上のための方策を検討していく。

② 町立美術館

* 事業概要

町民が歴史と文化に興味を持ち、芸術向上の場として親しみやすい美術館運営を考慮し、郷土が誇る芸術家「近藤浩一路」の功績を称え、その作品を美術館に展示する。

○開館日数：291日

○企画展

- ・望月勅雄水墨画展 7月9日～7月30日 500人
- ・近藤浩一路没後50年展 11月10日～12月2日 805人
- ・中村はるみ人形展 1月15日～2月2日 653人
- ・早蕨展 3月11日～3月30日 301人

○常設展

区分	期間	入場者数
近藤浩一路作品展	年2回展示換え(通年)	332人

*** 成果 [評価 4]**

近藤浩一路没後50年展の開催、及び計4つの特別展を開催し、多くの入場者が訪れ、町内外へ美術館をPRすることができた。また施設への案内看板を設置し、美術館の周知が図れた。

*** 課題**

施設への案内看板を設置したが、美術館の建物自体にも表示看板を設置し、宣伝をもっと積極的にすべきである。

企画展の開催についても経費（印刷製本費、運搬委託料等）がかかってしまうため、できるだけ予算をかけずに開催するよう、鋭意努力することが必要である。

6. 生涯スポーツの充実（生涯スポーツ課）

(1) 施設の充実と効果的な活用

① アルカディアスポーツセンター

○営業日数：295日

○入館者数：38,246人	人数	収入金額
内訳	プール・ジム	15,603人 (3,366,600円)
	レッスン	14,114人 (6,200,300円)
	体育館	8,529人 (406,700円)
		<u>9,973,600円</u>

○その他の施設：46,655人

内訳	テニスコート	5,139人 (260,900円)
	野球場	4,378人 (375,800円)
	運動場	6,908人 (125,750円)
	富沢野球場	4,234人 (232,100円)
	小中学校施設	24,334人 (594,950円)
	柔剣道場	1,662人 (102,900円)
		<u>1,692,400円</u>

○主催教室事業

レッスン名	開催日	開催日数	参加延人数
親子幼児体操	火曜日	44回	534人
シニアトレーニング		44回	367人
ズンバ(夜)		44回	700人
水中ウォーキング(夜)		22回	218人
バランスボール(夜)		44回	387人
ボディーデザイン	水曜日	22回	77人
シニアトレーニング		44回	347人
大人クロール		44回	109人
大人水泳教室		44回	70人
ステップ&コンディショニング(夜)		42回	476人
水中ウォーキング	木曜日	22回	240人
シニアトレーニング		44回	288人
シェイプアップエアロ		44回	337人
フラダンス(リコロケ)(夜)		44回	723人
フラダンス(ロケラニ)(夜)		44回	575人
はじめてヨガ(夜)	金曜日	44回	585人
リラックスヨガ(夜)		44回	406人
バランスボール		44回	159人
ジュニア水泳教室(夜)		44回	169人
水泳教室	火・水・木	132回	6,119人
年中さん水泳教室	火・水	88回	1,228人
計			14,114人

○共催教室事業（福祉保健課主催）

メタボ体操教室（6月～8月）

教室名	開催日	開催回数	参加者数	参加延人数
チームダイエット南部(2クール)	金曜日	21回	18人	172人

*** 成果 [評価 4]**

参加者のほぼ全員が減量に成功しており、内2名は、メタボより脱却している。

教室事業は定着しつつあるが、今後も利用者のニーズにあった新規教室や高齢者向けの教室も開催していきたい。

*** 課題**

昨年に比べ利用者数は増加しているが、会員者数が減少している。特に町内の会員者が減少傾向にあるため、施設のPRはもちろん、イベント等を開催企画し、町民の利用促進を図りたい。また、インストラクターの人材不足により教室が開催されない事がある為、人材を確保したい。

②その他施設

*** 事業概要**

社会体育施設・学校体育施設の開放は、各体協支部、体協専門部、クラブチームの多数に利用されている。平成25年度の収入額は前年比2.4%減であったが、利用者は4.9%増加した。

*** 成果 [評価 4]**

体育館・グラウンドとも年間通しての利用があり有効に利用が図られている。特に体協専門部、スポーツ少年団、クラブチームの利用が多い。また、夏季には県外チームの合宿として利用されている。

*** 課題**

屋外施設においては照明や安定器をはじめとする設備の老朽化が目立つ。節電対策と施設の利用促進を総合的に推進できるよう効果的な利用を図る。また、ゴミの持ち帰りの徹底等、利用者のマナーの改善を促す必要がある。

また、アルカディアプールについても経年による老朽化が目立ち、維持管理費の増大をいかに抑えるかが課題となっている。

(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化

① スポーツ推進委員事業

* 事業概要

目的：町民にスポーツの楽しさ、すばらしさを伝えるとともに、スポーツやレクリエーションの普及振興を図るための指導・助言を行う。

事業費：450千円（スポーツ推進委員会補助金）

事業：1) 軽スポーツ普及事業

トランポリン教室（11回）、キンボール教室（2回）

2) 各種スポーツ大会への協力

アルカディアスポーツフェスタ、町民体育祭、駅伝大会

3) 各種研修

定例会（4回）、峡南研修（2回）、県研修（2回）

* 成果 [評価 4]

本町のスポーツ推進委員24名は町民に対し積極的にスポーツの普及振興に努めた。中でもトランポリンクラブにおいては、会員の子供たちに親切丁寧に指導することができた。また、駅伝大会等ではスムーズな大会運営に努めた。

* 課題

勤務の都合でスポーツフェスタ、町、体育協会等の各種行事への出席率の低いスポーツ推進委員も見受けられたので、出席率の向上を図る。

② スポーツグループ育成事業

* 事業概要

目的：町民のスポーツ実施率の向上とスポーツの日常化を目指し、軽スポーツグループの育成を図る。

事業：「南部リズム会」は平成18年度から自主団体として活動し、毎月1回リズム体操教室を開催している。会員は年度末現在89名。「南部トランポリンクラブ」は平成21年6月に設立し、スポーツ推進委員が中心となって毎月2回子どもたちにトランポリンと軽スポーツを指導している。会員は年度末現在年長から小学校3年生まで41名。「南部ウォーキングクラブ」は平成21年6月に設立し、毎月1回、町内外のウォーキングを開催している。会員は年度末現在72名。

* 成果 [評価 5]

南部リズム会は設立から8年が経ち町民の中に定着している。南部ウォーキングクラブとともに50歳から70歳までの婦人層が中心で生活習慣病予防、体力づくりのほか会員の憩いの場として役割を果たしている。南部トランポリンクラブは神経系の発達が著しい年齢層の子どもを対象に実施し体力向上に貢献している。

* 課題

それぞれのグループとも町民の認知度が上がり、活動も活発になり会員も増加しているが、男性の参加者を増やして行きたい。なお一層の啓発や事業の推進を図り、スポーツを積極的にしない町民の取り込みを図る。また、会員自身が主体的に活動し、運営していく体制を整えていく。

③ スポーツ教室・イベントの開催

* 事業概要

目的：スポーツを振興し、町民の体力増進・健康を保持するとともに、人と人とのふれあいを育むコミュニティの場として、誰でも楽しめる軽スポーツを中心に教室を開催する。

事業費：教室謝金247千円、フェスタ200千円、サンクスデー94千円

事業：1) 各種教室の開催

教室名	開催日	開催回数	参加者数 (会員数)
トランポリン教室	月2回	22回	41人
キンボール教室	6月14日17日	2回	150人
ジュニアゴルフ教室	夏休み期間	4回	6人
親子テニス教室	〃	3回	14人
バレーボール教室	4月20日	1回	100人
弓道教室	夏休み期間	21回	7人
スキー教室 しらかば2 in 1	2月16日	大雪中止	0人
ウォーキング教室	4月～3月	11回	72人
リズム会 飯田忠子先生	4月～3月	12回	89人
計			479人

2) スポーツイベント

イベント名	開催日	参加人数
ヴァンフォーレ甲府 サンクスデー	8月10日	100人
アルカディアスポーツフェスタ 2013	7月14日	400人

* 成果 [評価 4]

日頃からスポーツの体験ができない方に対してのきっかけづくりとして大きな効果があり、各教室とも多くの初心者の参加があった。また、フェスタでは、育成会対抗のキンボール大会が盛大に開催されるとともに、プール無料開放のほか、チアダンスチーム「Cheers Factory」の演技を見ることができ、評判が良かった。

* 課題

種目を固定化するのではなく、町民のニーズにあったスポーツやニュースポーツイベント教室を開催する。広くスポーツの楽しさやすばらしさを啓発するため、フェスタ・サンクスデーは継続して開催する。

(3) 組織の充実と連携

① 体育協会

* 事業概要

目的：生涯スポーツを推進するには体育協会との町行政とが緊密な連携を図る必要がある。

事業：体育協会は25支部、16専門部、8スポ少から組織され、教育委員会生涯スポーツ課が、庶務会計を担当しスポーツ振興を図っている。競技スポーツとしての一面と生涯スポーツの一面を有し、県体育祭への出場、町民体育祭・駅伝大会の開催、各種スポーツ教室の開催を年間事業としている。特に初心者を対象にしたスポーツ教室では各種目の普及を目指し尽力している。行政とも緊密な連携と協力体制が図られている。

事業費： 4,500千円（体育協会補助金）

事業名	開催日	参加人数
第11回南部町民体育祭 24支部参加	10月13日	1,200人
第11回南部町駅伝・第1回マラソン大会 69チーム・14人参加	1月26日	359人

* 成果 [評価 4]

町と体育協会の連携が図られスポーツ事業が実施されている。特に町民体育祭・駅伝大会は町の一大行事として位置づけられている。

第1回となったマラソン大会は、出場者こそ少なかったが、周知次第では今後大きく飛躍する可能性を秘めている。

* 課題

部員の減少等により活動が減少している専門部には、新規部員の取り込みのための教室を開催する。また、体協支部でグラウンドゴルフなどの軽スポーツ教室を開催する場合は専門指導者ができる限り協力しスポーツの普及を図る。教室開催にあっては、町民のニーズにあった種目を開催する。

② 総合型地域スポーツクラブの育成

* 事業概要

目的：スポーツ実施率を向上させるため、多世代・多種目・多嗜好を実現した組織として、スポーツ振興基本計画やスポーツ立国戦略では総合型地域スポーツクラブの設立を掲げている。町ではクラブ設立を目指し、「南部町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を組織し、設立に向け準備を進めている。

事業：会議を開催し備品等整備を行った。

事業費：150千円（設立準備委員会補助金）

* 成果 [評価 3]

総合型地域スポーツクラブ設立については、設立準備会により、町の現状、町民のニーズ、県内各町の状況をもとに協議した。年間を通じ、山梨県広域スポーツセンター並びにスポーツ健康課の指導を受けて事業推進に取り組んでいる。

*** 課 題**

県内市町村でのクラブの設立率は70%とされている。本町でも、クラブ設立に向け取り組んでいるが、主体となる人材や指導者の確保が困難な状況等を踏まえ、平成26年度中には、クラブ設立の是非を検討する。